

駅前5商店街に活気を 「しゃかりき芦別笑店街」が開催される



「しゃかりき芦別笑店街」が7月30日、芦別駅前通で開催されました。これは、駅前5通り商店街に「にぎわい」を取り戻そう、と一般社団法人芦別青年会議所がまちづくり事業の一環として主催したものです。

当日は、駅前通を歩行者天国に

して、市内飲食店の露店などが並び、大勢の市民の皆さんが訪れたほか、約30人の子どもたちが、各商店を巡って芦別の特産品などのクイズに答えるスタンプラリーに挑戦しました＝写真＝。夜には吹奏楽演奏などが行われ、終日にぎわっていました。

ベースボールサマーキャンプに小学生113人が参加、元プロから学ぶ

8月8日から10日まで、「日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプin芦別」が芦別市民球場で開催されました。

これは、公益社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）と芦別市の主催によるもので、今年で5回目。

今年は芦別市内のほか、札幌市や旭川市などから小学4年生から6年生の

男女113人が参加。講師には、元近鉄バファローズの佐々木恭介さんをはじめ、元北海道日本ハムファイターズの西崎幸広さん、留萌市出身で元ソフトバンクホークスの本間満さんら5人の元プロ野球選手が務め、参加した少年少女たちは、正しいキャッチボールの仕方から実戦での注意点など、野球の基本技術をしっかりと学んでいました。



ロシア・サハリン州の少年と芦別などの少年少女が柔道親善交流



北海道柔道連盟主催のジュニア・ロシア少年親善交流大会が8月9日、市青年センターで開かれました。

これは、同連盟とサハリン州柔道サンボ連盟が毎年行っている交流事業で、札幌市、帯広市など北海道内各地で開催しています。今年は初めて滝川柔道連盟などが主

管となり、滝川ブロック内である本市が会場となりました。

サハリン州からは、11歳から15歳までの少年10人が参加。親善試合では、啓成中学校の島倉大将君ら10人の滝川ブロック代表と対戦しました。試合後は、小学生なども加わって合同練習が行われました。

農業まつり 大雨で行事短縮するものの、大地の恵みに感謝

8月20日、第43回星の降る里芦別農業まつりが北大通お祭りの広場で開催されました。

ジャガイモやメロン、カボチャなど市内の種類豊富な新鮮な農産物が販売され、毎年楽しみにしている方も多い夏の最後を飾るイベントですが、今年は大雨の影響により、予定されていた21日の行事が中止となっ

てしまいました。

それでも、20日に行われた芦別産米の「ふっくりんこ」と味付けシカ肉の試食用無料配布には、大勢の市民の皆さんが雨の中長い行列をつくったほか、昨年好評だった熊本県湯前町のブドウなどの特産品販売が今年も行われ、参加した皆さんは大地の恵みに感謝し、楽しんでいました。

